

令和 7 年度
茨城県 業務ガイダンス
(技術職：化学)

■ 経歴など

経歴

- 2013年3月 大学院卒業（農学（農芸化学））
- 2013年4月～18年3月 民間企業勤務（分析化学）
- 2018年4月 入庁（現在8年目）

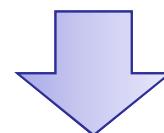
入庁後の勤務課所・担当業務

- 県南県民センター 環境・保安課
(2018年度～2019年度)
↓
- 流域下水道事務所 水質管理課
(2020年度～2021年度)
↓
- 下水道課 (2022年度～2024年度)
↓
- 環境対策課 水環境室 (2025年度～)

茨城県職員を志望した理由

- 生まれ育った茨城のために働きたい。
- 愛着のある茨城で生活したい。
- 前職の経験や学生時代の専攻を生かしたい。

い。



茨城県の化学職が
最適!!



本日の説明内容について

1. 化学職とは
2. これまでの体験談
3. 現在の業務内容
4. 入庁2年目及び3年目の先輩からのメッセージ
5. ワークライフバランス
6. これから県職員を目指す方へのメッセージ

□ 1. 化学職とは

<「令和7年度茨城県職員採用大学卒業程度試験案内」によると>

- 化学職の採用時の勤務場所及び職務内容は、

「知事部局等の本庁又は出先機関で、主に環境に関する調査研究及び監視観測、上・下水道の水質検査又は工業、先端技術に関する試験研究等の業務に従事します。」と、記載されている。

- 化学職の過去5年間の大学卒業程度試験の実施状況は、次のとおり。

年度	採用予定人員	応募	受験	1次合格	最終合格	競争率
令和7年度	3名程度	15人	12人	11人	5人	2.4倍
令和6年度	6名程度	24人	24人	24人	8人	3.0倍
令和5年度	2名程度	8人	6人	4人	2人	3.0倍
令和4年度	5名程度	22人	19人	18人	8人	2.4倍
令和3年度	5名程度	18人	11人	10人	7人	1.6倍

□ 1. 化学職とは(化学職の業務概要 & 主な配置箇所)

(1) 環境保全

本庁：県民生活環境部（環境政策課、環境対策課、廃棄物規制課、資源循環推進課）
出先：県民センター環境・保安課、霞ヶ浦環境科学センター

- 県の環境保全政策の企画立案、調整、広報・啓発
- 事業所等に対するばい煙、排水等の規制指導
- 環境（水質、大気、土壤、騒音、悪臭等）に関する分析・研究 など

(2) 防災・危機管理

本庁：防災・危機管理部（原子力安全対策課、消防安全課）
出先：環境放射線監視センター

- 原子力の安全政策の企画立案、調整、広報・啓発
- 環境放射線等の監視・分析
- 高圧ガスの保安監督指導 など

(3) 水質確保

本庁：土木部（下水道課）、企業局（施設課）
出先：下水道事務所、水質管理センター、水道事務所

- 上水道水質の監視分析
- 下水道水質の監視分析

(4) 産業振興

本庁：産業戦略部（技術革新課、科学技術振興課）
出先：産業技術イノベーションセンター、繊維高分子研究所

- 生産技術の指導、研究開発 など

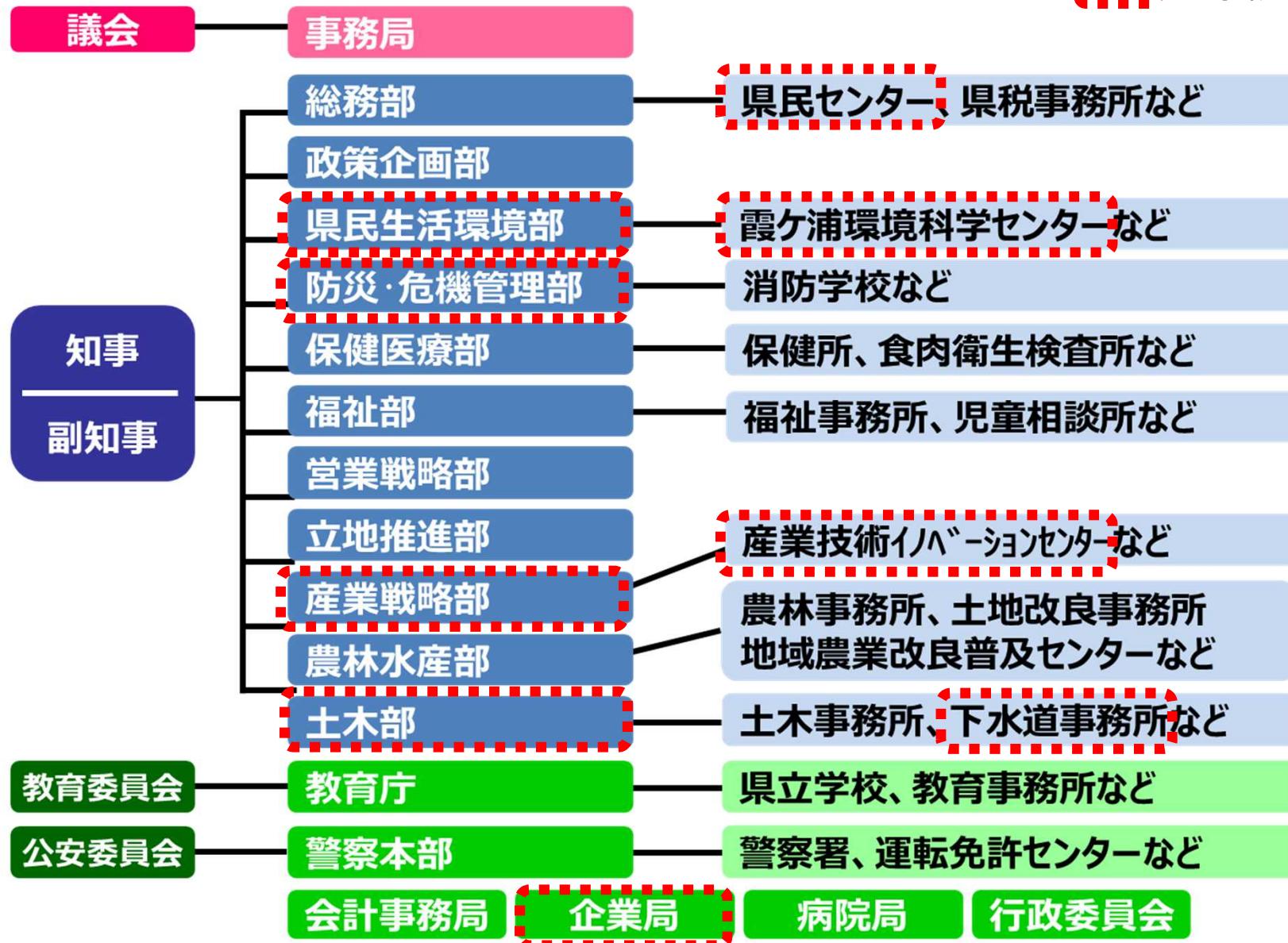


□ 1. 化学職とは(化学職の業務概要 & 主な配置箇所)

県の組織 (令和7年度)



化学職の主な配置箇所



□ 1. 化学職とは(化学職の業務概要 & 主な配置箇所)

部 局	本庁 (水戸市)	出先機関・研究機関
総務部		県民センター環境・保安課 (4センター: 常陸太田市、鉾田市、土浦市、筑西市)
県民生活環境部	生活文化課 環境政策課 環境対策課 廃棄物規制課 資源循環推進課	【研究機関】 霞ヶ浦環境科学センター (土浦市)
防災・危機管理部	消防安全課 原子力安全対策課	【研究機関】 環境放射線監視センター (ひたちなか市)
保健医療部		【研究機関】 衛生研究所 (水戸市)
産業戦略部	技術革新課 科学技術振興課	【研究機関】 産業技術イノベーションセンター (茨城町) 纖維高分子研究所 (結城市)
土木部	都市計画課 下水道課	鹿島下水道事務所 (神栖市) 流域下水道事務所 (土浦市) (浄化センター4所: 潮来市、利根町、ひたちなか市、下妻市)
企業局	施設課	企業局水質管理センター (土浦市) 企業局水道事務所 (4所7支所: 土浦市、鹿嶋市、筑西市、那珂市 ほか)

※その他、政策企画や国・議会調整など、幅広く行政事務を行う部署への配属あり

□ 1. 化学職とは(化学職の先輩からのメッセージ)



大気汚染の防止、湖沼・河川の水質保全、騒音や放射能など広く環境問題に対応するための調査研究、監視観測を行うほか、県内企業を支援するための研究開発を行います。

主な勤務課所：本庁関係課、県民センター、霞ヶ浦環境科学センター、環境放射線監視センター、衛生研究所、産業技術イノベーションセンター、下水道事務所、企業局水質管理センター

茨城県の環境や水道水の安心安全を守る

茨城県職員を選んだ理由・動機を教えてください。

環境問題に興味があり、特に日本で2番目に大きい湖で、農業・漁業・水道など様々に利用され茨城県民の生活を支えている霞ヶ浦の水質改善に携わりたいと思い、志望しました。

現在の仕事内容と魅力を教えてください。

水道法に基づく水質基準項目の分析、水質検査の信頼性保証システムの一つである「水道GLP(水道水質検査優良試験所規範)」の文書管理、水処理を行う上で障害となる生物の調査研究などを行っています。私たちの仕事が水道水の安心安全につながると思うと責任の重さとやりがいを感じます。職場は同年代や女性が多く、仕事上の課題など難しい話からプライベートな悩みの相談など様々な話がしやすい雰囲気で楽しく仕事ができます。

動画も
CHECK!



嶋田 麻里恵 主任 2009年度採用

2009 県民生活環境部霞ヶ浦環境科学センター
2012 総務部鹿行県民センター
2015 企業局水質管理センター(現所属)

先輩からのメッセージ

化学職は実験室で分析する以外に行政的な仕事も多く、配属先や業務分担により多種多様な業務があります。 辛い仕事や難しい課題などもありますが、快適な県民生活を支え、また茨城県の豊かな環境を守り活かすために、一緒に切磋琢磨しながら働きましょう。

化 学

大気汚染の防止、湖沼、河川の水質保全、騒音や放射線など広く環境問題に対応するための調査研究、監視観測を行うほか、中小企業支援のための技術開発を行います。

主な勤務課所：本庁関係課、県民センター、霞ヶ浦環境科学センター、環境放射線監視センター、衛生研究所、産業技術イノベーションセンター、下水道事務所、企業局水質管理センター

安心で快適な生活環境を守るため

茨城県職員を志望した理由を教えてください。

私は、学生時代に様々な環境問題について学んだことがきっかけで、故郷である茨城県の環境保全に携わる仕事をしたいと考えるようになりました。志望しました。

現在の仕事内容や魅力を教えてください。

現在は、茨城県内の大気汚染や騒音被害の防止のため、有害大気汚染物質調査や航空機騒音実態調査を実施して状況を把握し、環境基準等の監視を行っています。目立つ仕事ではありませんが、県民の皆様の心身の健康に直結する非常に大切な役割だと感じています。職場は、明るく話しやすい雰囲気で、分からないことがあった時などは相談して周囲からアドバイスをもらい日々勉強しています。

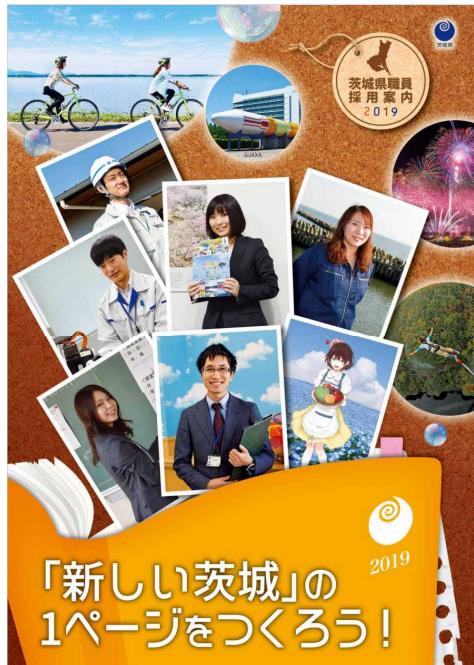
中村 美早紀 主任 2009年度採用

2009 土木部鹿島下水道事務所
2011 企業局水質管理センター
現所属

先輩からのメッセージ

化学職は、行政・研究等の様々な機関に配属され、幅広い分野で活躍することができます。茨城県の安心で快適な生活環境を守るため、一緒に働いてみませんか。

□ 1. 化学職とは(化学職の先輩からのメッセージ)



大内 孝雄 主任
県民生活環境部環境対策課
(2011年度採用)

2011 生活環境部霞ヶ浦環境科学センター
2017 現所属

化 学

大気汚染の防止、湖沼、河川の水質保全、騒音や放射線など広く環境問題に対応するための調査研究、監視観測を行うほか、中小企業支援のための技術開発を行います。

主な勤務課所

本庁関係課、県民センター、霞ヶ浦環境科学センター、環境放射線監視センター、衛生研究所、産業技術イノベーションセンター、下水道事務所、企業局水質管理センター

安心で快適な生活環境を守る

学生時代に環境問題に興味を持ち、その後に学ぶ中で身近な環境を守りたいと考え、県職員を志望しました。

現在は、霞ヶ浦の水質保全に関する業務に取り組んでいます。霞ヶ浦は水道の水源や漁業など重要な役割を果たしていますが、あまり水質は良くありません。そこで、水質浄化施設を設置するなどの取組を行い、2018年には本県で開催された「第17回世界湖沼会議」の場で発表しました。霞ヶ浦の水質浄化という目標に向かって、県だけでなく、国や市町村、事業者や住民の方など、様々な立場の方と一緒に計画を進めていくことにやりがいを感じています。

業務に当たっては、住民の方に説明する機会が多いので、専門的な内容をわかりやすく伝えることに気をつけています。

受験者の方へ

化学職には、本庁以外に調査研究や水質検査を行う機関があり、様々な視点から環境に関わることができます。茨城県の安心で快適な生活環境を守るため、一緒に働いてみませんか。

化 学

大気汚染の防止、湖沼、河川の水質保全、騒音や放射線など広く環境問題に対応するための調査研究、監視観測を行うほか、中小企業支援のための技術開発を行います。

主な勤務課所 : 本庁関係課、県民センター、霞ヶ浦環境科学センター、環境放射線監視センター、衛生研究所、工業技術センター、下水道事務所、企業局水質管理センター



小田主任

生活環境部環境対策課
平成23年度採用

環境保全対策を推進する

私は、大学で様々な環境問題について学んだことがきっかけで、生まれ育った茨城県の環境を保全する仕事がしたいと思い、県職員を志望しました。

現在は、環境対策課の世界湖沼会議準備室で、平成30年10月に本県で開催する第17回世界湖沼会議に向けて、分科会のプログラム構成の検討、開催案内書の作成などの開催準備業務に携わっています。多くの大学の教授や、研究機関の専門家と意見交換をしながら国際会議をつくりあげていくことにやりがいを感じています。

日々の業務に当たっては、県民の生活環境を保全し、住みよい県を守っていくことを考えています。

受験される方へ

化学職は行政・研究等の幅広い分野に配属されるため、様々な経験をして新しい知識を得ることができます。茨城県の安心で快適な生活環境を守るため、一緒に働いてみませんか。

□ 2. これまでの体験談①

県南県民センター【土浦市】（2018年度～2019年度）
環境・保安課 公害防止・産業保安グループ

■ 県南県民センターとは

- ✓ 県内に4つある県民センターの一つであり、土浦市に所在
- ✓ 県民福祉課、環境・保安課、建築指導課、地域福祉室で構成

■ 環境・保安課とは

● 廃棄物対策グループ

- ✓ 産業廃棄物の不法投棄対策、適正処理の推進
- ✓ 鳥獣保護と狩猟対策 等

● 公害防止・産業保安グループ

- ✓ 大気・水質保全の推進
- ✓ 地下水質の監視、土壤汚染対策
- ✓ 凈化槽の普及、適正管理の推進
- ✓ 高圧ガス保安、火薬類取り締まり関係 等



□ 2. これまでの体験談①

県南県民センター【土浦市】（2018年度～2019年度）
環境・保安課 公害防止・産業保安グループ

■ 主な担当業務

- ✓ 排水関係届出の処理
- ✓ 事業場の立入検査（水質関係）
- ✓ 水質関連の事案対応（河川への油の流出等）



水質事案への対応

■ 経験したこと・感じたこと

- ✓ 文書作成、法令の解釈、事業者等への指導、県民対応等、県職員として働く上で必要なことを幅広く経験
- ✓ 週2～3日は事業場や立入検査に行き、先輩職員をお手本として排水関連施設の状況確認や不適合事業者へ指導を実施
- ✓ 苦情が発生している事業者への対応などで、県民から感謝され、やりがいを感じることができた

□ 2. これまでの体験談②

流域下水道事務所 水質管理課【土浦】（2020年度～2021年度）
下水道課【本庁（水戸）】（2022年度～2024年度）

■ 流域下水道事務所 水質管理課とは

県が管理する流域下水道事業の水質管理に係る試験、
調整に関する業務

- ✓ 流入・放流水質に係る試験・調査研究
- ✓ 水質管理に係る調整



流域下水道事務所

■ 下水道課とは

茨城県における下水道事業の総合調整

- ✓ 県内下水道の総合計画、広域化計画の策定
- ✓ 県管理下水道の計画・予算調整
- ✓ 市町村管理下水道の調整・取りまとめ



利根浄化センター（水処理施設）

□ 2. これまでの体験談②

流域下水道事務所 水質管理課【土浦】（2020年度～2021年度）
下水道課【本庁（水戸）】（2022年度～2024年度）

■ 主な担当業務

○流域下水道事務所 水質管理課

- ✓ 水質検査（NP流れ分析、原子吸光）、委託検査の発注
- ✓ 処理場の運転委託事業者との調整等

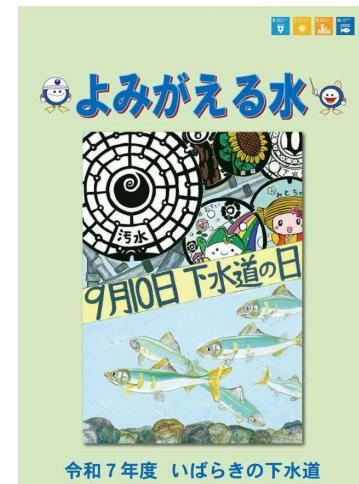
関係機関との意見交換会



○下水道課

- ✓ 県管理処理場の水質管理に係る調整、取りまとめ
- ✓ 県管理下水道の計画策定、予算管理

広報紙の作成



■ 経験したこと・感じたこと

- ✓ インフラを維持する責任とやりがいを感じた（地震、大雨、施設故障時の対応）
- ✓ 事業を進める上で、県民・議会への説明責任。
- ✓ 他課や市町村、国等関係機関との調整の大切さ。

□ 3. 現在の業務内容

環境対策課【本庁（水戸市）】（2025年度～）
水環境室 水質保全担当

■ 環境対策課とは

県民生活環境部に属し、以下の事務を担当

- 公害防止・化学物質対策
 - ✓ 事業者による化学物質の自主的な管理の改善
 - ✓ フロン類の適正な回収促進 等
- 大気環境の保全
 - ✓ 大気汚染の監視、アスベスト対策
 - ✓ 有害大気汚染物質の実態把握 等
- 水環境の保全
 - ✓ 公共用水域及び地下水の監視
 - ✓ 工場・事業場の排水規制・指導
 - ✓ 凈化槽の普及促進 等
- 霞ヶ浦の水質保全対策
 - ✓ 霞ヶ浦水質保全計画の策定・推進
 - ✓ 霞ヶ浦環境体験学習の推進 等



□ 3. 現在の業務内容

環境対策課【本庁（水戸市）】（2025年度～）
水環境室 水質保全担当

■ 主な担当業務

- ✓ 水質汚濁防止法・関係条例に関すること
- ✓ 事業場の排水規制・指導（取りまとめ）、計画策定
- ✓ 霞ヶ浦流域における小規模事業所の排水対策 等

■ 意識していること・感じたこと

- ✓ 事業者への指導は県民センターが行うため、**現場の立場**に立った調整ができるよう意識
- ✓ 水質保全は環境対策課以外の様々な部署や、県以外の組織も関連するため、スムーズに進めるための**情報共有を意識**
- ✓ 経験豊富な化学職の先輩のほか、若手も多く在籍しており、相談しやすく、**働きやすい職場環境**



立入検査

霞ヶ浦流域の小規模事業所の排水規制が変わります



排水規制に係るリーフレット

□ 4. 入庁1年目及び2年目の先輩からのメッセージ

■ 環境対策課で一緒に働く後輩

茨城県職員を志望した理由

学生時代に培った技術や知識を生かせる職業を考えたときに、生まれ育った地で、かつそれを生かせる職場である茨城県職員を志望しました。

茨城県の推進する充実したワーク・ライフ・バランスのための施策も魅力的で、きっかけのひとつでした。

現在の業務内容・入庁して感じたこと

環境対策課で公共用水域（河川・湖沼など）の常時監視の業務を主に担当しています。

水質は自分にとって未知の分野でしたが、多くの方が支えてくださり、今は新しいことを学習できる充実した環境だと感じています。

化学職は研究面でも行政面でも茨城に貢献できる仕事です。

研修制度や先輩・上司のサポートにより、入庁1年目から自分の担当業務を進めることができる環境となっており、安心してください。皆さんと一緒に働く日をお待ちしております。

I 技師
2024年度採用
(入庁2年目)



O 技師
2023年度採用
(入庁3年目)

茨城県職員を志望した理由

生まれ育った茨城県に貢献したいという思いと、学生時代に身につけた知識を業務に有効活用したいという考えから、県職員を志望しました。

専門的な試験研究や測定業務だけでなく、環境行政に関わることができる（業務の幅が広い）ことも県職員を志望したきっかけの一つです。

現在の業務内容・入庁して感じたこと

現在は、環境対策課で地下水質の監視に関する業務を担当しています。

業務を通して、困ったときに頼りになる同期・先輩・上司に恵まれていると感じています。

分からない部分を周りに相談できる環境は、居心地がよく、心強いです。

県職員を目指す方へのメッセージ

化学職には優しい先輩方が多く、何事も相談しやすい環境です。また、化学の知識を生かして、茨城県に貢献できます。

皆さんのが県職員になった際には、先輩としてサポートできるよう日々精進しますので、一緒に茨城県の環境を良くしていきましょう。

□ 5. ワークライフバランス

■ 時差出勤 (毎日利用中)

区分	勤務時間
早出①	6:30~15:15
早出②	6:45~15:30
早出③	7:00~15:45
早出④	7:15~16:00
早出⑤	7:30~16:15
早出⑥	7:45~16:30
早出⑦	8:00~16:45
早出⑧	8:15~17:00
通常	8:30~17:15
区分	勤務時間
遅出①	8:45~17:30
遅出②	9:00~17:45
遅出③	9:15~18:00
遅出④	9:30~18:15
遅出⑤	10:00~18:45
遅出⑥	10:30~19:15
遅出⑦	11:00~19:45
遅出⑧	12:00~20:45
遅出⑨	12:30~21:15
遅出⑩	13:00~21:45

- ✓ 自分のライフスタイルに合わせて
18パターンから選択可能
 - ✓ 1日単位で利用可能
- ⇒ **渋滞を回避して出勤**



■ テレワーク (頻繁に利用)

- ✓ **在宅勤務**
- ✓ 各地域の出先機関のPCを使用した**サテライトオフィス**
- ✓ 個人のスマホ等を利用した**モバイルワーク**



■ フレックスタイム制

- 2024年4月から導入
- ✓ **週休3日制**も可能に



□ 5. ワークライフバランス

子育てのための休暇・休業制度（主なもの）

制 度	対象者	内容・利用限度等	利用期間				
			妊娠 産前16週	産前8週 出産	産後2週	1歳 産後8週	3歳 1歳6月 小学校就学
妊娠通勤混雑緩和休暇	有給	・交通機関の混雑を避けるため ・勤務時間の始め又は終わりに1日1時間以内		妊娠～出産			
妊娠休養・補食休暇	有給	・母体・胎児の健康保持のため ・そのつど必要と認める時間		妊娠～出産			
妊娠嘔吐（つわり）休暇	有給	・つわりのために勤務が困難なとき ・14日以内（日、時間）		妊娠～出産			
妊娠婦保健指導・健康診査休暇	有給	・保健指導や健康診査を受けるため ・そのつど必要と認める時間			妊娠～産後1年		
妊娠婦時間外・休日・深夜勤務の制限	一	・時間外勤務、休日勤務、深夜勤務しない			妊娠～産後1年		
配偶者出産休暇	有給	・妻の出産に伴う入退院の付き添い、出生届など ・5日以内（日、時間）		産前16週～産後2週			
産前産後休暇	有給	・出産のため		産前8週～産後8週			
家族看護等休暇	有給	・配偶者の出産後の世話等 ・15日以内（日）			産後1		
育児参加休暇	有給	・生まれてくる子又は小学校就学前の子の養育 ・5日以内（日、時間） ・出産に係る子の養育 ・15日以内（日）		① 産前8週～産後1年	男性職員の育児参加休		
育児休業	無給	・3歳未満の子の養育 ★1歳までは育児休業手当金が支給されます。			～3歳		
育児部分休業	減額	・小学校就学前の子の養育 ・勤務時間の始め又は終わりに1日2時間以内			～小学校就学前		
育児時間休暇	有給	・1歳6ヶ月未満の子の養育 ・1日2時間以内（時間）			～1歳6月		
育児短時間勤務	減額	・小学校就学前の子の養育 ・通常よりも短い時間での勤務（週3日、週2日半等）			～小学校就学前		
時間外・深夜勤務の制限	一	・3歳未満の子の養育…時間外勤務の免除 ・小学校就学前の子の養育…時間外・深夜勤務の制限			～小学校就学前		
家族看護休暇	有給	・子や配偶者等の看護（子の予防接種等も対象） ・1年に5日以内（日、半日、時間）〔義務教育終了前の子が2人以上10日以内〕			子		
時差出勤制度	一	・1日の勤務時間を変えずに始業・終業時間を変更			子の年齢要件なし		
テレワーク（在宅勤務）	一	・自宅等（職員の自宅及び所属長の承認を受けた場所をいう。） でパソコンを使って勤務			子の年齢要件なし		
フレックスタイム制	一	・単位期間（1～4週間）の勤務時間の総量を変えずに 1日当たりの勤務時間を変更			子の年齢要件なし		
出生サポート休暇（短期）	有給	・不妊治療のため ・1年に10日以内（日、時間）					
出生サポート休暇（長期）	減額	・不妊治療（体外受精及び顕微授精に限る）のため ・1年以内（日）					

- ✓ 子育て関係の休暇が充実
 - ✓ 実際に配偶者出産休暇、育児参加休暇、育児時間休暇を利用
 - ✓ このほか
 - ・年次休暇（20日間／年）
 - ・夏季休暇（5日間）
- などの休暇制度あり
(年次休暇は時間単位で取得可能)

□ 6. これから県職員を目指す方に対するメッセージ

化学職は、行政職と研究職の両方を経験すること
ができ、環境分野を中心に産業振興や防災など幅広
い分野で活躍することができます。

茨城県の安心安全で快適な生活環境を守るために、
ぜひ一緒に働きましょう。

みんなで一緒にチャレンジして、「新しい茨城」へ

